

「地域包括ケアシステム」構築に向けての地域課題の把握及び地域支援体制のあり方検討会議

検討会議設置の目的

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。

県内各地域においても、保健・医療・福祉分野の連携をはじめとした各施策が展開されていますが、2025年問題を見据えた地域包括ケアシステムの構築に向けては、地域課題の把握及び地域課題に対する多職種連携による施策展開が重要なポイントになってきます。

さらに、そのための重要な手法としての地域ケア会議について、介護保険法で制度的に位置付けられるため、地域課題の把握などのしくみづくりについて検討を行います。

検討会議メンバー 59名（市町 56名、県 3名）◎代表 ○副代表

市・町		県
津市高齢福祉課／ 介護保険課（2名）	四日市市介護・高齢福祉課 （2名）	◎健康福祉部長寿介護課 （3名）
伊勢市介護保険課／ 高齢・障がい福祉課	松阪市高齢支援課（3名）	
桑名市介護・高齢福祉課（2名）	中央地域包括支援センター	
鈴鹿市長寿社会課	鈴鹿亀山地区広域連合 （2名）	
名張市高齢・障害支援室（2名）	地域包括支援センター	
尾鷲市福祉保健課	紀北広域連合	
亀山市高齢障がい支援室 （2名）	鳥羽市健康福祉課（2名）	
熊野市地域包括支援センター	紀南介護保険広域連合	
いなべ市長寿福祉課	志摩市介護保険課／ ふくし総合支援室	

市・町		県
○伊賀市介護高齢福祉課／医療福祉政策課／福祉相談調整課		
木曾岬町福祉健康課	東員町長寿福祉課（2名）	
菰野町健康福祉課	朝日町保険福祉課	
川越町町民保険課	多気町町民福祉課	
明和町長寿健康課	大台町健康ほけん課	
玉城町生活福祉課	度会町福祉保健課（2名）	
大紀町健康福祉課（2名）	南伊勢町医療保健課／ 福祉課（2名）	
紀北町福祉保健課（3名）	御浜町健康福祉課（2名）	
紀宝町福祉課		

事務局●三重県健康福祉部長寿介護課

検討事項

2025年問題を見据えた地域課題の把握及び施策検討につなげるための
しくみの検討

—地域ケア会議を通じた地域づくり・資源開発や政策形成への取り組み—

開催実績

（平成26年度）

第1回 [8/5] → 1 県と市町の地域づくり連携・協働協議会について
2 代表・副代表の選任について
3 取組事例の報告について
4 グループ討議

第2回 [12/24] → 1 取組事例の報告について
2 グループ討議

検討内容及び検討結果

第1回検討会議（8/5）

- ・代表に県長寿介護課長、副代表に伊賀市介護高齢福祉課長を選出しました。
- ・提案市（伊賀市）における取組について報告しました。
- ・グループ討議について
 - ・事前に地域課題の把握の状況などについてアンケートを取り、把握の有無についてたずねたところ、29市町中、「把握を行っている」19市町、「把握を行っていない」10市町でした。また、地域課題の把握を行っていると回答した19市町のうち、政策へ反映しているところは13市町でした。
 - ・そのため、地域課題の把握の方法や課題、問題について、7班に分かれてグループ討議を行いました。
 - ・地域課題の把握については、地域ケア会議をはじめ、民生委員、自治会、老人クラブなど地域住民からの意見や、アンケート調査・ニーズ調査など様々な方法により行われていることが明らかになりました。
 - ・また、地域ケア会議においては、個別課題と地域課題の両方を検討する機能があるが、個別ケースの検討が中心となっており、政策形成につながっていないことが課題となっています。

第2回検討会議（12/24）

- ・取組事例の報告について

第1回の討議を経て、地域課題を把握する仕組みについては、ほとんどの市町でできていますが、把握した地域課題について、政策への反映につながっておらず、政策形成に向けたプロセスに課題を抱えていることが明らかになりました。

そのため、桑名市、松阪市、大台町、伊賀市の4市町から地域課題の把握と政策形成に向けたプロセスの特徴などの報告を受けました。
- ・グループ討議について
 - ・4市町からの取組事例の報告を参考に、地域ケア会議を活用した地域づくりから政策形成につなげていくために必要なことについて5班に分かれてグループ討議を行いました。
 - ・地域包括支援センター単位の個別ケースの検討で終わっているため、市町単

位の政策形成にまでつなげる仕組みが必要との意見がありました。

- ・また、地域課題の解決のため、行政内の連携が十分にできておらず、横断的な取組が必要との意見がありました。

今後の予定

協議を行う中で各市町の課題が明らかになってきました。その課題は、各市町により様々であり、そのためには、地域の特性に応じた対応が必要となります。

県長寿介護課では、地域ケア会議の普及、定着を図ること等を目的として、平成 25 年度から県内 6 箇所で開催し、意見交換を行っています。平成 27 年度以降も、地域ケア会議の充実に向けて、県内各地域で開催し、地域の特性に応じた支援を行っていきます。

また、必要に応じて当課が主催する会議などで好事例の紹介や意見交換を行っていきます。